

事 務 連 絡
平成 26 年 9 月 10 日

各 { 都 道 府 県
保健所設置市
特 別 区 } 衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局結核感染症課

デング熱の国内感染症例について（第十報）

日頃から感染症対策への御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

国内でデング熱に感染した患者が、新たに 8 名（最近の海外渡航歴なし）確認されました（計 94 名）（別添 1）。各症例について、関係自治体から、別添 2 及び 5 のとおり公表されていますので、情報提供します。

これに加えて、代々木公園周辺以外の場所でデング熱に感染したと考えられる患者が新たに 2 名報告されました。（別添 1、2、4）。現在、国立感染症研究所において、この 2 名の患者の検体を用いて詳細なウイルスの解析を行っているところです。現時点では、代々木公園等への訪問歴のあるデング熱の患者から検出されたウイルスとの関連は不明です。

当面の間、全国のデング熱の国内での感染が疑われる症例の発生動向を定期的に取りまとめ、公表することとしておりますので、引き続き、医療機関から国内での感染が疑われる症例の情報が提供された場合は、直ちに当課まで情報提供をお願いします。

参考資料

別添 1：デング熱国内感染患者 現時点での疫学情報のまとめ（平成26年 9 月10日 11:00現在）

別添 2：埼玉県記者発表資料（平成26年 9 月 9 日）

別添 3：茨城県記者発表資料（平成26年 9 月 9 日）

別添 4：横浜市記者発表資料（平成26年 9 月10日）

別添 5：東京都記者発表資料（平成26年 9 月10日）

別添 6：厚生労働省 報道発表資料（平成26年 9 月10日）

ホームページ

厚生労働省 デング熱について

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html)

国立感染症研究所 デング熱とは

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>)

デング熱国内感染患者 現時点での疫学情報のまとめ

平成 26 年 9 月 10 日 11 : 00 現在
 国立感染症研究所
 ウイルス第一部
 感染症疫学センター

症例 番号	年齢 性別	居住地	医療機関 所在地	発症日	代々木公園	蚊の刺咬	備考
1	10 代 女性	埼玉県	さいたま 市	8 月 20 日	行った (8/11, 8/14, 8/18)	あり	8/27 公表
2	20 代 男性	東京都	東京都 新宿区	8 月 24 日	行った (日は未確定)	あり	8/28 公表
3	20 代 女性	埼玉県	埼玉県	8 月 18 日	行った (8/1, 4, 6, 8, 11, 14, 18)	あり	8/28 公表
4	10 代 男性	埼玉県	さいたま 市	8 月 16 日	行った (8/9~8/10)	不明	9/1 公表
5	50 代 男性	千葉県	千葉県 柏市	8 月 27 日	周辺に行った (8/15, 16, 17, 18, 21, 23, 24, 25)	あり (8/23)	9/1 公表
6	50 代 男性	東京都	東京都 渋谷区	8 月 25 日	行った (毎日)	あり	9/1 公表
7	10 代 男性	東京都	東京都 文京区	8 月 24 日	行った 8/20 頃	不明	9/1 公表
8	40 代 女性	東京都	東京都 新宿区	不明	行った (8/18)	不明	9/1 公表
9	30 代 女性	東京都	東京都 渋谷区	8 月 24 日	行った (毎日)	不明	9/1 公表
10	20 代 男性	東京都	東京都 渋谷区	8 月 17 日	行った (8/10 頃)	不明	9/1 公表
11	10 歳 未満 男児	東京都	東京都 渋谷区	8 月 21 日	行った (8/16)	あり	9/1 公表
12	10 代 男性	東京都	東京都 新宿区	8 月 18 日	行った (8/11)	不明	9/1 公表

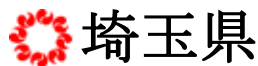
13	30代女性	東京都	東京都新宿区	8月23日	行った (8/10)	不明	9/1 公表
14	40代女性	東京都	東京都新宿区	8月28日	行った (8/20)	不明	9/1 公表
15	30代男性	東京都	東京都渋谷区	8月22日	行った (8/17)	不明	9/1 公表
16	20代男性	東京都	東京都港区	8月16日	行った (8/9～8/10)	不明	9/1 公表
17	20代男性	東京都	東京都江戸川区	8月25日	行った (8/20)	あり	9/1 公表
18	30代男性	東京都	東京都練馬区	8月24日	行った (8/17)	あり	9/1 公表
19	10代女性	茨城県	茨城県つくば市	8月23日	周辺へ行った (8/16～18)	あり	9/1 公表
20	10代女性	神奈川県	神奈川県横浜市	8月23日	代々木公園周辺を通った。 (8/16-18)	覚えていない	8/31 疑い例として自治体が公表
21	20代男性	神奈川県	神奈川県横浜市	8月25日	行った (8/18)	あり	8/31 疑い例として自治体が公表
22	10代男性	新潟県	新発田市	8月24日	代々木公園周辺を通った。 (8/20)	あり	8/31 疑い例として自治体が公表
23	20代女性	東京都	東京都	8月26日	行った (8/21)	あり	9/2 公表
24	10歳未満男児	東京都	東京都	8月24日	行った (8/16, 17)	あり	9/2 公表
25	20代女性	東京都	東京都	8月14日	行った (8/10)	あり	9/2 公表
26	20代男性	東京都	東京都	8月25日	周辺へ行った (不明)	あり	9/2 公表
27	50代男性	東京都	東京都	8月30日	行った (不明)	あり	9/2 公表
28	20代女性	東京都	東京都	8月29日	行った (週に5日程度)	あり	9/2 公表

29	20代男性	東京都	東京都	8月25日	行った (8/18)	不明	9/2 公表
30	20代男性	青森県	青森市	8月25日	行った (8/19)	あり	9/2 公表
31	10代女性	山梨県	山梨県	8月23日	代々木公園周辺 (8/16～18)	あり	9/2 公表
32	10代女性	大阪府	大阪府 高槻市	8月30日	行った (8/25, 26)	あり	9/2 公表
33	10代女性	大阪府	大阪府 高槻市	8月31日	行った (8/25, 26)	覚えて いない	9/2 公表
34	10代女性	大阪府	大阪府 高槻市	9月1日	行った (8/25, 26)	覚えて いない	9/2 公表
35	10代男性	愛媛県	愛媛県 宇和島	8月14日	行った (8/5～13)	不明	9/2 自治体が 公表
36	20代男性	東京都	岡山県 倉敷市	8月24日	行った (8/14～17 のいずれか)	不明	9/2 疑い例と して自治体 が公表
37	10代女性	新潟県	新潟市	8月24日	周辺へ行った (8/16～18)	あり	9/2 自治体が 公表
38	40代女性	東京都	東京都	8月26日	行った (8/19)	不明	9/3 公表
39	20代女性	東京都	東京都	8月26日	行った (8/21)	あり	9/3 公表
40	70代男性	東京都	東京都	8月28日	行った (毎日)	あり	9/3 公表
41	40代女性	東京都	東京都	8月30日	行った (毎日)	不明	9/3 公表
42	20代女性	東京都	東京都	9月1日	行った (不明)	不明	9/3 公表
43	10代女性	東京都	東京都	9月1日	行った (8/27)	あり	9/3 公表
44	40代男性	東京都	東京都	8月26日	行った (毎日)	あり	9/3 公表
45	40代女性	東京都	東京都	8月29日	周辺へ行った (8/21～24)	あり	9/3 公表
46	40代男性	山梨県	山梨県	9月1日	行った (8/26)	あり	9/3 公表

47	40 代 女性	北海道	北海道 札幌市	8 月 29 日	周辺へ行った (8/22)	あり	9/3 公表
48	70 代 男性	千葉県	千葉県 千葉市	8 月 24 日	行った (8 月中に複数回)	不明	9/3 自治体が 公表
49	20 代 女性	神奈川県	神奈川県 横浜市	8 月 28 日	行った (8/17, 24)	あり	9/4 公表
50	20 代 女性	東京都	東京都	8 月 14 日	行った (8/9)	あり	9/4 公表
51	10 代 女性	東京都	東京都	8 月 28 日	行った (8/22)	不明	9/4 公表
52	20 代 女性	東京都	東京都	8 月 12 日	行った (8/4)	あり	9/4 公表
53	30 代 男性	東京都	東京都	9 月 2 日	行った (8/27)	あり	9/4 公表
54	70 代 女性	東京都	東京都	8 月 29 日	行った (不明)	不明	9/4 公表
55	60 代 男性	東京都	東京都	8 月 26 日	行った (毎日)	あり	9/4 公表
56	10 代 男性	群馬県	群馬県	8 月 29 日	行った (8/23)	あり	9/4 自治体が 公表
57	30 代 女性	新潟県	新潟県	8 月 26 日	周辺へ行った (8/22)	不明	9/4 自治体が 公表
58	20 代 女性	千葉県	千葉県	8 月 31 日	周辺へ行った (8/22)	あり	9/4 自治体が 公表
59	40 代 男性	埼玉県	埼玉県	8 月 27 日	行った (8/25)	あり	9/4 自治体が 公表
60	30 代 女性	神奈川県	神奈川県 横浜市	9 月 2 日	行った (8/26)	あり	9/5 公表
61	20 代 女性	東京都	東京都	8 月 28 日	行った (不明)	あり	9/5 公表
62	10 歳 未満 男児	東京都	東京都	9 月 1 日	行った (8/22)	あり	9/5 公表

63	10 代 女性	東京都	東京都	8 月 28 日	周辺へ行った (8/20～/24)	あり	9/5 公表
64	20 代 女性	東京都	東京都	9 月 3 日	周辺へ行った (8/28)	あり	9/5 公表
65	70 代 男性	東京都	東京都	9 月 1 日	行った (週に 2 回)	あり	9/5 公表
66	40 代 男性	東京都	東京都	9 月 1 日	周辺へ行った (不明)	あり	9/5 公表
67	30 代 男性	埼玉県	埼玉県	8 月 30 日	行っていない (新宿中央公園の訪問歴 あり)	あり	9/5 公表
68	60 代 男性	東京都	東京都	9 月 1 日	行っていない (明治神宮外苑(8/22、29) 及び外堀公園(8/23、25～ 28)の訪問歴あり)	あり	9/6 公表
69	10 代 女性	神奈川県	神奈川県 横浜市	8 月 31 日	行った (8/26)	不明	9/5 自治体が 公表
70	20 代 男性	神奈川県	神奈川県 相模原市	9 月 1 日	行った (8/23)	不明	9/5 自治体が 公表
71	10 代 女性	岩手県	岩手県	8 月 23 日	周辺へ行った (8/16～18)	あり	9/5 自治体が 公表
72	10 代 男性	山口県	山口県	8 月 28 日	周辺へ行った (8/17～21)	あり	9/5 自治体が 公表
73	60 代 男性	埼玉県	埼玉県	9 月 4 日	行った (8/27)	あり	9/5 自治体が 公表
74	20 代 女性	埼玉県	埼玉県	9 月 3 日	行った (8/28)	あり	9/6 自治体が 公表
75	40 代 男性	東京都	東京都	8 月 29 日	行った (8/23)	あり	9/8 公表
76	20 代 男性	東京都	東京都	8 月 31 日	周辺へ行った (不明)	あり	9/8 公表
77	30 代 女性	東京都	東京都	8 月 28 日	行った (8/23)	あり	9/8 公表
78	40 代 男性	東京都	東京都	8 月 12 日	周辺へ行った (8/7)	あり	9/8 公表

79	60 代 男性	東京都	東京都	不明	行った (毎日)	あり	9/8 公表
80	20 代 男性	東京都	東京都	8 月 31 日	行った (不明)	あり	9/8 公表
81	50 代 男性	静岡県	静岡県	9 月 5 日	行った (8/30)	不明	9/8 自治体が 公表
82	10 代 男性	埼玉県	東京都	8 月 30 日	行った (不明)	あり	9/9 公表
83	40 代 女性	東京都	東京都	9 月 1 日	行った (8/21)	あり	9/9 公表
84	50 代 女性	東京都	東京都	9 月 5 日	行った (不明)	あり	9/9 公表
85	20 代 女性	東京都	東京都	9 月 5 日	行った (8/27)	あり	9/9 公表
86	60 代 男性	千葉県	千葉県 千葉市	8 月 31 日	行っていない (推定感染地は 千葉市稲毛区内)	不明	9/9 公表
87	50 代 男性	埼玉県	埼玉県	8 月 30 日	行った (8/23)	あり	9/9 自治体が 公表
88	10 代 男性	茨城県	茨城県	9 月 6 日	行った (9/3)	不明	9/9 自治体が 公表
89	20 代 女性	神奈川県	神奈川県 横浜市	9 月 6 日	代々木公園周辺に行った (8/27)	あり	9/10 公表
90	40 代 男性	東京都	東京都	9 月 5 日	周辺へ行った (8/31)	あり	9/10 公表
91	20 代 女性	東京都	東京都	9 月 8 日	周辺へ行った (9/2)	あり	9/10 公表
92	10 歳 未満 女兒	東京都	東京都	9 月 4 日	周辺へ行った (不明)	あり	9/10 公表
93	30 代 男性	東京都	東京都	9 月 6 日	行った (7 月中旬～9/4)	あり	9/10 公表
94	20 代 女性	東京都	東京都	8 月 31 日	新宿中央公園へ行った (8/25)	あり	9/10 公表



<報道発表資料>

保健医療部 疾病対策課
感染症・新型インフルエンザ対策担当
野本、青木
直通 048-830-3557
代表 048-824-2111 内線 3572・3596
E-mail: a3590@pref.saitama.lg.jp

平成26年9月9日

デング熱の国内感染症例の発生について

1 概 要

埼玉県内の医療機関をデング熱への罹患の疑いで受診している患者について、県衛生研究所で検査を実施したところ、デング熱の患者であることが確認されました。当該患者は、都立代々木公園で蚊に刺されてデング熱に感染したと考えられます。

2 患者について

年 齢 等 埼玉県在住、50歳代、男性

海外渡航歴 なし

発症・受診 8月30日発症、9月1日医療機関受診、外来治療中

症 状 発熱、頭痛。容態は安定している。

検査・診断 9月9日に県衛生研究所で確認検査を行ったところ、デング熱陽性の結果が得られた。

蚊の刺咬歴 8月23日、都立代々木公園

3 県民の皆様へ

屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。

デング熱に感染しても、重症化する場合はまれです。蚊に刺されてから3～7日程度で、高熱のほか頭痛、目の痛み、関節痛等の症状が見られればデング熱の可能性もあるため、早めに医療機関を受診してください。

4 これまでの本県関係患者発生状況

埼玉県内では、9月9日16時までに8名（本件を含む。）がデング熱の国内感染症例として確認されています（さいたま市発表分を含む）。

<参 考>

○ 関連リンク

厚生労働省 デング熱について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html

国立感染症研究所 デング熱とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>

資料提供

平成26年9月9日 18時 30分
 照会先：保健予防課健康危機管理対策室
 担当：室長補佐（総括） 柴田 隆之

デング熱国内感染症例の発生について(第二報)

1 概要

本日、新たに、茨城県内で1名のデング熱患者が確認されましたので、お知らせします。当該患者は最近1ヶ月以内の海外渡航歴がなく、9月3日に都立代々木公園に出かけたことが確認されています。患者は入院中ですが、快方に向かっています。

2 患者について

- (1)年齢・性別 : 10歳代(高校生), 男性, 県南
 ・居住地域
- (2)海外渡航歴 : 最近1ヶ月以内なし
- (3)蚊の刺咬歴 : 公園で蚊に刺されたかは不明
- (4)発症・受診 : 9月6日発症 9月8日取手市内の医療機関を受診し入院
- (5)症状 : 発熱, 腰痛, 食欲不振, 発疹など
- (6)検査・診断 : 9月9日に医療機関から竜ヶ崎保健所へ連絡
 同日 県衛生研究所の検査で陽性
 ※9月1日付けの厚生労働省からの通知により, 9月2日以降
 は県衛生研究所の検査結果をもって, 感染の有無を判断することとなっております。

【参考】デング熱の県内発生状況

(人数)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
患者数	2	1	1	3	5	(海外) 2
						(国内) 2

※平成25年以前は全て海外感染事例

※平成26年は本事例を含め平成26年9月9日現在

3 県内の対応

- ・県民からの相談は、県内の各保健所および保健予防課で受け付けています。
- ・県内の医療機関へは患者発生状況について情報提供し、疑い患者が受診した場合には保健所へ報告していただくよう、周知しています。

4 デング熱について

(1) 概要

- ・ 蚊が媒介するデングウイルスによる疾患で、アジア、中東、中南米、オセアニア等の世界の広範な地域で流行しています。
- ・ ヒトが感染してもデング熱を発症する頻度は10～50%。
- ・ ヒト(患者)— 蚊 —ヒト という経路で蚊を媒介して感染し、ヒトからヒトへ直接感染することはありません。

(2) 症状

- ・ 潜伏期間は多くは3日～7日とされ、その後、発熱、発疹、頭痛、筋肉痛、関節痛などの症状がみられる。
- ・ 通常の患者は発病後2日～7日で解熱し、そのまま治癒する。
- ・ まれに重症化して、出血傾向やショック症状がみられることがある。

(3) 治療法

- ・ 特異的な治療法はなく、対症療法をおこなう。
- ・ 現在のところ、有効な抗ウイルス薬はない。

(4) 予防法

- ・ 国内ではヒトスジシマカ(主に昼間吸血する習性がある)がデング熱を媒介する可能性があるため、蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。
- ・ 具体的には
 - ①長袖、長ズボンを着用するなど、屋外で活動する時には肌の露出をなるべく避ける。
 - ②虫よけ剤などを使用し、蚊を寄せ付けないように注意する。
 - ③室内も蚊の駆除を心掛ける。
 - ④蚊の幼虫の発生源を作らないように注意する。
(蚊は水辺に産卵する。下水溝、廃タイヤの中や水桶等人工的な環境でも産卵し増殖する。)

デング熱国内感染例の発生について（第5報）

平成 26 年 9 月 9 日に、市内医療機関からデング熱患者の届出が横浜市保健所に提出され、患者の発生が確認されましたのでお知らせします。

関係者調査の結果、患者はいずれも最近 1 か月以内の海外渡航歴がなく、8 月 27 日に都立代々木公園周辺に出かけたことが確認されています。

1 患者について

居住地	年齢	性別	発症日	症状	入院の有無	最近 1 か月以内の海外渡航歴
中区	20 歳代	女	9 月 6 日	発熱 (38.8℃)、頭痛、発疹等	無	なし

2 推定感染地域

関係者調査の結果、患者は 8 月 27 日に都立代々木公園周辺に出かけたことが確認されています。

このことから、都立代々木公園周辺においてデングウイルスを保有している蚊に刺されて感染した可能性が疑われます。

3 市民の皆さまへ

- ・日本国内で海外渡航歴のないデング熱の患者（国内感染）が複数発生していますが、横浜市内に生息している蚊に刺されたことによって、デング熱に感染された方は確認されていません。
- ・海外の流行地域（主に熱帯・亜熱帯地域）に渡航される方は蚊に刺されないように注意することはもちろん、国内でも蚊に刺されないように注意することが大切です。
- ・ヤブ蚊に刺されて高熱が続いた場合には、蚊に刺されないように注意して、かかりつけの医療機関を受診してください。
- ・症状は、ヤブ蚊に刺されてから概ね 3 日から 7 日で、突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れます。

4 デング熱について

デング熱は人から人に直接感染する病気ではありません。ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他者を吸血することではじめて感染します。また、感染した場合も、一般に一週間前後の経過で回復すると言われています。

お問合せ先

横浜市保健所健康安全課長

岩田 眞美

Tel 045-671-2442

平成26年9月10日
福祉保健局

デング熱の国内感染症例について(第10報)

都内医療機関から、新たに海外渡航歴がないデング熱患者5名の届出がありました。
なお、現時点で重篤な症状を呈する患者は確認されておりません。
9月9日に届出のあった患者の概要及び専用相談電話の実績について、以下のとおりお知らせします。

1 患者について

	届出受理日	年代性別	発症日	推定感染日
1	9／9	40代男性	9／5	8／31
2	9／9	20代女性	9／8	9／2
3	9／9	10歳未満女児	9／4	不明
4	9／9	30代男性	9／6	不明
5	9／9	20代女性	8／31	8／25

報道発表済みの患者数 全国85名 うち都内52名 (9月9日発表分まで)

2 専用相談電話実績(電話番号 03-5320-4179)

8／28(木)～9／8(月)	9／9(火)	合計
1,665	167	1,832

平日午前9時から午後7時まで

報道関係者 各位

平成 26 年 9 月 10 日

【照会先】

厚生労働省健康局結核感染症課
感染症情報管理室長

中嶋 建介(内線 2389)

課長補佐 難波江 功二(内線 2373)

(代表番号) 03(5253)1111

(直通番号) 03(3595)2257

代々木公園周辺以外の場所における デング熱の国内感染症例について

今般、代々木公園周辺以外の場所でデング熱に感染したと考えられる患者が新たに 2 名報告されました。(別添 1、2、4)。現在、国立感染症研究所において、この 2 名の患者の検体を用いて詳細なウイルスの解析を行っているところです。現時点では、代々木公園等への訪問歴のあるデング熱の患者から検出されたウイルスとの関連は不明です。

1 例目の患者（千葉県公表）については、発症前の行動歴や蚊の刺咬歴等から推定すると、感染場所は、患者の勤務地（東京都台東区）の周辺であると考えられます。このため、台東区は、当該患者の勤務地周辺の蚊の調査等の対策に着手したところです（別添 3）。

2 例目の患者（神奈川県相模原市公表）については、発症前の行動歴や蚊の刺咬歴等から推定すると、感染場所は、外濠公園（東京都千代田区）又は都立青山公園（東京都港区）であると考えられます。外濠公園については、既に利用者への注意喚起や蚊の駆除等の措置が取られています。また、都立青山公園を所管する東京都は、利用者への注意喚起を行っているほか、港区とともに、公園内の蚊の調査を行っています。この調査結果に基づき、早急に園内の蚊の駆除等の対策が取られる予定です（別添 5、6）。

なお、9 月 9 日に公表した、千葉市稲毛区在住のデング熱の患者については、国立感染症研究所におけるウイルス解析の結果、この患者から検出されたウイルスの血清型は、デングウイルス 1 型であり、遺伝子配列は、代々木公園周辺、新宿中央公園、神宮外苑又は外濠公園への訪問歴のあるデング熱の患者から検出されたものと一致しました。

厚生労働省では、全国の自治体と連携しつつ、デング熱の国内発生症例の情報収集を進めています。

- 屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意してください。
- デング熱に感染しても重症化する場合はまれ。蚊に刺されてから 3-7 日程度で高熱のほか、頭痛、目の痛み、関節痛等の症状が見られれば、デング熱の可能性もあるため、早めに医療機関を受診してください。

別添 1：患者に関する情報

別添 2：千葉県記者発表資料

別添 3：台東区記者発表資料

別添 4：相模原市記者発表資料

別添 5：港区記者発表資料

別添 6：東京都記者発表資料

患者に関する情報

症例 1（千葉県から報告）

- 患者は、千葉県在住、東京都台東区内に勤務する 50 代男性。
- 最近の海外渡航歴はなし。
- 最近の代々木公園周辺への訪問歴はなし。
- 勤務地の周辺において蚊の刺咬歴あり。
- 8 月 30 日に下痢、8 月 31 日に倦怠感、9 月 1 日に高熱の出現を認め、1 日、近医を受診。
- 9 月 4 日、別の病院を受診し、入院。
- 9 月 9 日、千葉県衛生研究所での血液検査の結果、デング熱であることが確定。現在、国立感染症研究所において、ウイルスの解析を実施中。
- 現在、患者は快復し、退院している。

症例 2（相模原市から報告）

- 患者は、神奈川県在住の 20 代男性。
- 最近の海外渡航歴はなし。
- 最近の代々木公園周辺への訪問歴はなし。
- 8 月下旬に、外濠公園及び都立青山公園への訪問歴あり。
- 都立青山公園での蚊の刺咬歴あり。外濠公園での蚊の刺咬歴は不明。
- 9 月 2 日、発熱、悪寒、嘔吐で発症。
- 9 月 3 日、近医受診。9 月 4 日、相模原市内の医療機関を受診。
- 9 月 8 日、上記医療機関を再診し、入院。
- 9 月 9 日、国立感染症研究所における検査の結果、デング熱であることが確定。引き続き、ウイルスの解析を実施中。
- 現在、患者は快方に向かっている。

平成 26 年 9 月 10 日
千葉県健康福祉部
疾病対策課
043-223-2672

感染症予防のための情報提供について

病 名	デング熱（国内感染症例）		
住 所	松戸市	年齢・性別	50歳代 ・ 男性
症 状 等	頭痛・発熱・筋肉痛・骨関節痛・発疹・血小板減少・白血球減少	行動歴等	1 か月以内の海外渡航歴や、代々木公園付近等への訪問歴無
発病年月日	平成26年8月30日	届出年月日	平成26年9月9日

松戸市在住の50歳代の男性が、8月30日に下痢を呈して発症、9月1日に39℃台の発熱を呈し、柏市内の医療機関を受診した。

症状が改善しないため、9月4日に松戸市内の医療機関を受診し、同日入院となった。

9月9日、千葉県衛生研究所で実施した血液検査の結果から、デング熱と診断され、医療機関から松戸保健所にデング熱の発生届があった。

当該患者に対する調査の結果、1 か月以内の海外渡航歴や、これまでに感染の可能性が疑われている代々木公園周辺等への訪問歴はなかった。

この患者の発症前の行動歴及び刺咬歴から、感染場所は当該患者の勤務地（東京都台東区）の周辺であると考えられる。

〔患者発生の経過〕

8月28日まで会社に出勤。（蚊の刺咬歴あり）

8月30日 下痢症状、8月31日 倦怠感を呈した。

9月 1日 高熱を発し、柏市内の医療機関を受診。

9月 4日 症状が改善しないため松戸市内の別の医療機関を受診、同日入院。

9月 9日 県衛生研究所の検査結果によりデング熱と診断され、医療機関より松戸保健所が発生届を受理。

症状が改善したため、退院。

9月10日 国立感染症研究所において、詳細なウイルスの検査を実施中。

〔県内の発生状況（デング熱届出数）		＊（ ）内は国内感染例で内数。				
	H21	H22	H23	H24	H25	H26
千葉県	7	27	4	14	20	12（5）
全 国	93	244	113	221	249	—

（平成26年の千葉県分は9月10日現在（本件分を含む）。全国分は集計中。）

（県民の皆様へ）

戸外に出るときは、長袖、長ズボンを着用するなど肌の露出をなるべく避け、虫さされ防止薬を適正に使用するなど、蚊にさされないような工夫を心がけてください。

蚊に刺された後、3～7 日程度で高熱がみられた時は、早めに医療機関を受診して下さい。

また、デング熱に関するご相談は、最寄りの保健所へ御相談下さい。

【参考】

デング熱とは

1 発生状況

- アジア、中南米、アフリカなど熱帯・亜熱帯に広くみられる。
- 60 年以上、国内における感染報告はなかったが、2014 年 8 月以降報告が続いている。

2 感染経路

- ヒトからヒトの直接的な感染はない。
- 患者を刺し、ウイルスを保有した蚊が媒介して感染が広がる。

3 潜伏期間

- 3～7 日が多い。

4 症状

- 突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹。
- 感染しても発症する頻度は 10～50%。
- 予後は比較的良好だがまれに重症化することがある。
- 潜伏期間は 2～15 日と言われており、多くは 3～7 日で発症する。

5 治療

- 対症療法を行う。
- 有効な抗ウイルス薬はない

6 予防法

- 長袖、長ズボンを着用し、素肌でのサンダル履き等は避ける。
- 虫除け剤の使用等によって、屋外だけではなく屋内でも蚊に刺されないように注意する。
- 室内の蚊の駆除を心がける。
- 蚊幼虫の発生源を作らないように注意する。
- 有効なワクチンはない

平成 26 年 9 月 10 日
台 東 区

台東区内で感染した可能性があるデング熱について

今般、千葉県より台東区内において感染したとみられるデング熱の患者が確認されたと連絡がありました。

患者は台東区内に勤務している千葉県在住の 50 代男性で、勤務地周辺で蚊に刺され、感染した可能性があると考えられます。

【区の対応】

- 国立感染症研究所の協力を得て、患者の勤務地周辺の蚊の生息状況調査を行った上で、必要に応じて蚊の駆除を実施します。
- 利用者が多く、蚊の生息好適地のある区立公園について、東京都の協力を得て蚊のウィルス保有調査を実施します。
- 区立公園等について注意喚起の掲示をします。
- ホームページやチラシ等により注意喚起をいたします。
- その他デング熱の対応については、厚生労働省、東京都及び関係自治体と連携し、適切な対応を図ってまいります。

【区民の皆様へ】

デング熱は人から人へ感染することではなく、ウィルスを保有した蚊を媒介して感染し、症状が出たとしても重症化することはまれで、通常一週間程度で回復しますので、冷静な対応をお願いします。

国内では、ヒトスジシマカ（主に日中に屋外で吸血する）がデング熱を媒介する可能性があるため、予防のためには蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。

蚊に刺されて発熱、発疹等の症状がある場合には、かかりつけの医療機関に受診して下さい。

【相談対応】

（１）台東区の相談窓口

●デング熱についての相談

台東保健所 保健予防課 感染症対策担当 03-3847-9476

●蚊の対策についての相談

台東保健所 生活衛生課 環境衛生担当 03-3847-9455

●受付時間

平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで（9 月 10 日（水）から 12 日（金）は 19 時まで）

（２）東京都の相談窓口

●専用相談電話 03-5320-4179 平日 9 時から 19 時まで

【問合せ先】台東保健所

保健予防課長 植原 昭治

電話 03-3847-9413

生活衛生課長 吹澤 孝行

電話 03-3847-9419

<デング熱 Q&A>

Q1. デング熱とはどんな病気ですか？

- ・デングウイルスに感染しておこる急性の熱性感染症で、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹が主な症状です。

Q2. どのようにして感染するのですか？

- ・ウイルスに感染した患者を蚊が吸血すると、蚊の体内でウイルスが増殖し、その蚊が他の人を吸血することでウイルスが感染します（蚊媒介性）。
- ・デング熱の主な媒介蚊はネッタイシマカですが、日本には生息していません。ただし、日本のほとんどの地域（青森以南）でみられるヒトスジシマカも媒介します。
- ・ヒトからヒトに直接感染することはありません。また、感染しても発症しないことも多くみられます。

Q3. 重い病気なのですか？

- ・デング熱は、ほとんどは1週間ほどで解熱し症状は治まります。予後は比較的良い感染症です。
- ・まれに重症化して、出血やショック症状がみられることがあります。この場合も適切な治療が行われれば、多くの人は回復します。
- ・近年は日本国内で診断された患者で死亡した人はいません。

Q4. 治療薬はありますか？

- ・デング熱（デングウイルス）に対する特異的な治療法はなく、対症療法を行うことになります。ほとんどの患者さんはこの治療で後遺症もなく回復します。

Q5. 予防接種はありますか？

- ・デング熱に有効なワクチンはありません。そのため、予防は主に蚊との接触を避けることです。

Q6. 蚊の発生を予防したり、蚊にさされないためには、どうしたらいいですか？

- ・蚊の幼虫（ボウフラ）の発生防止のため、水が溜まった容器の水を捨て、片づけてください。
- ・雨水マス等、水がたまる所は、こまめに清掃しましょう。
- ・蚊が潜みやすい、やぶや草むらは刈取り、樹木は適切に剪定して風通しをよくしましょう。
- ・蚊の多い場所に行く時は、長袖シャツ・長ズボン等を着用し、肌を露出しないようにしましょう。
- ・網戸を設置したり、扉の開閉を極力減らし、屋内への蚊の侵入を防ぎましょう。
- ・必要に応じて、蚊取り線香や電気式の蚊取り器を使用しましょう。



平成26年9月10日
相模原市発表資料

市内医療機関におけるデング熱のり患の確認（第2例）について

市内医療機関において海外渡航歴がない方のデング熱へのり患が確認されましたので、お知らせします。

1 患者

（1）患者の概要

- 神奈川県大和市在住20歳代男性
- 海外渡航歴なし
- 9月2日 40℃の発熱、発疹、筋肉痛、咽頭痛などを発症
- 9月3日 相模原市外の医療機関を受診し、紹介状を受ける。
- 9月4日 相模原市内の医療機関を受診する。
- 9月8日 再診したところ、熱が下がらずに入院療養となる。
- 9月9日 国立感染症研究所の検査にてデング熱の感染を確認する。
- 現在も医療機関に入院中ですが快方に向かっています。

（2）患者の行動

患者は、8月以降都立代々木公園及びその周辺には出かけておらず、8月下旬に千代田区立外濠公園及びに都立青山公園を訪れており、都立青山公園で蚊に刺されたと申し出ています。

2 本市の対応について

- 市HPにより市民への注意喚起を引き続き行います。
- 医療機関に対して、デング熱の国内感染が疑われる事例については、速やかに情報提供されるよう周知しています。

問合せ先 疾病対策課 感染症・難病対策班
電話 042-769-8260（直通）

【参考】デング熱について

1 概要

蚊が媒介するウイルスによる疾患で、アジア、中南米、アフリカなど世界の広範な地域で流行しています。ヒト(患者)―蚊―ヒトという経路で感染するため、ヒトからヒトに直接感染することはありません。

2 症状

- ・突然の発熱で発症し、頭痛、顔面紅潮、結膜充血を伴い、発熱は2～7日間持続します。
- ・初期症状に続き、全身の筋肉痛、関節痛、全身倦怠感を呈します。
- ・一般に1週間前後の経過で回復する感染症です。
- ・まれに重症化し、出血やショック症状を発症するデング出血熱やデング症候群に移行することがあります。

3 治療法

特異的な治療法はなく、対症療法が主体となります。現在のところ、有効な抗ウイルス薬はありません。

4 予防法

国内では、ヒトスジシマカがデング熱を媒介する可能性があるため、蚊との接触を避け、刺されないようにすることが重要です。

【対応例】

- * 長袖、長ズボンを着用して肌の露出をなるべく避けるとともに、虫よけ剤等を使用して蚊を寄せ付けないようにしてください。
- * 屋外だけでなく、屋内においても蚊の駆除を心がけてください。
- * 住宅周辺に存在する幼虫発生源(バケツに溜まった雨水等)をなくすことも、個人が平常時からできる対策の1つです。

【参考ホームページ】

厚生労働省 デング熱について

(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html)

国立感染症研究所 デング熱とは

(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>)



デング熱への港区の対応について【第7報】

－都立青山公園(港区六本木7-23)における蚊の駆除の実施について－

8月下旬に、外濠公園又は都立青山公園を訪問した際、デング熱に感染したと考えられる患者が確認された旨、相模原市から港区あてに情報提供がありました。

このことから、港区は東京都と連携し、都立青山公園利用者及び周辺の住民への注意喚起を行います。あわせてフェイスブック、ツイッターなどによる注意喚起を呼びかける情報発信も行います。

港区は、本日(10日)午前中に、都立青山公園内及びその周辺での蚊の生息調査を行い、午後には都及び区が周辺を含め必要な場所について、蚊の駆除を行います。

問合せ内容	回答担当課
蚊の調査・駆除方法に関すること	生活衛生課 生活衛生相談係 電話：03-6400-0043
デング熱(症状等)に関すること	保健予防課 保健予防係 電話：03-6400-0081

問合せ先

みなと保健所 健康推進課

課長 西塚(にしづか)

係長 津浦(つうら)

電話：03-6400-0086 (夜間対応)

平成26年9月10日
建設局

都立青山公園で感染した可能性があるデング熱への対応について

本日、都立青山公園でデング熱に感染した可能性がある患者が確認された旨、東京都に港区みなと保健所から連絡がありました。このため、東京都では、港区みなと保健所の指導を受け、早急に以下の対策を行います。

患者の状況については、厚生労働省及び相模原市から、現地の蚊の対策については、港区から報道発表されております。

1 都立青山公園における蚊の対策

患者が蚊に刺された可能性がある青山公園南地区において、本日、蚊の駆除を行います。

また、利用者へ蚊に刺されないよう園内に注意喚起の看板を設置しています。

なお、蚊の生息調査を、港区みなと保健所が実施しています。